

～Iターン就農者として経営安定を目指して～
大福 浩剛さん(東温市(旧重信町))

東温市青年農業者協議会理事
松山地区青年農業者連絡協議会理事
愛媛県青年農業者連絡協議会理事
1979年生まれ



☆経営概況☆

経営形態 個人営農
経営品目 露地野菜 170a (ブロッコリー、スイートコーン、サトイモ)
労働力 本人

☆ここがポイント☆

■就農のポイント

福井県で12年間農業に従事し、米麦やサトイモ等を栽培していました。父親が愛媛県出身で、その勧めもあり愛媛県での就農を決意し農地を探していた頃、東温市で農地が確保できたため、平成27年に東温市で新たに農業を始めました。

■ブロッコリーを主軸とした輪作体系の確立を目指す

夏場の暑い時期を除いて栽培が可能なブロッコリーを経営の主軸に、栽培時期や栽培品目を選定し、4年間試行錯誤した結果、ブロッコリー、スイートコーン、サトイモの輪作体系で栽培を行うこととしました。

■野菜栽培へのこだわり

子供にも自分が栽培したブロッコリー等を食べさせたいので、農薬はできる限り使わずに栽培しています。また、スイートコーン等の残渣はほ場にすき込みをして、土づくりを実施しています。

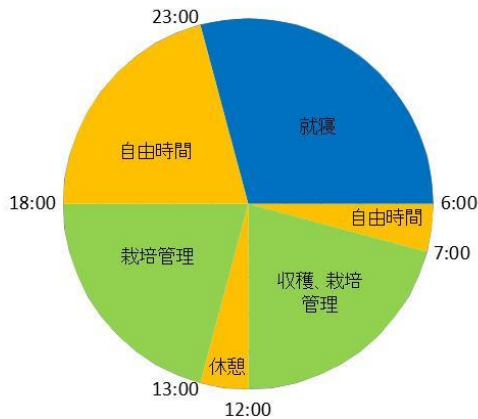


ブロッコリーの収穫作業



スイートコーンの栽培ほ場

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

農業という職業は自分にとって天職だと思っています。

そのため、「休みが欲しい」と思ったことが、殆どありません。

農業は休みを取ることは難しいと言われますが、繁忙期は早朝から働くなどして、夜はできるだけ家族と一緒に過ごせるようにスケジュール管理し、子供と遊ぶことでリフレッシュをしています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	休日は不定期（天候や栽培状況等により作業が少ない時が休日）					
← 収穫・栽培管理 →						
【普通期】	繁忙期より遅い時間から作業開始					
← 収穫・栽培管理 →						→ 休日 →



ブロッコリーの栽培ほ場



ブロッコリー苗の自家育苗

☆これからの夢や目指すもの☆

ブロッコリーを中心に栽培体系を確立し、その他の野菜含め秀品率や収量の向上を目指します。毎月、農業収入が得られるような栽培体系を確立するとともに、規格外品は加工などが行えるような環境整備を行い、子供が継ぎたいと思えるように農業法人を設立したいと考えています。

☆メッセージ☆

農業は作物を栽培するだけでなく、農業経営（簿記）や農業機械の操作、メンテナンスなど様々な知識や技術が必要になります。そのため、日々新たな発見と出会いがあり、多くの感動がある素晴らしい職業です。